



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社

コード番号 7022 URL <http://www.sanovas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員

(氏名) 森本 武彦

TEL 06-4803-6171

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	45,328	△16.9	5,224	29.2	5,374	33.9	2,411	265.8
24年3月期第3四半期	54,518	—	4,042	—	4,014	—	659	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,401百万円 (804.9%) 24年3月期第3四半期 265百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	74.02	—
24年3月期第3四半期	20.23	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	66,671	17,720	25.2
24年3月期	73,170	15,482	20.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,829百万円 24年3月期 14,601百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	—	3,200	—	2,900	—	1,100	—	33.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	32,600,000 株	24年3月期	32,600,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	22,365 株	24年3月期	22,353 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	32,577,636 株	24年3月期3Q	32,577,715 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
4. 補足情報.....	10
販売及び受注の状況.....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要にも支えられ内需には一部回復の兆しがみられましたが、円高の定着によって輸出産業の競争力が落ち込んだうえ、米国経済の復調が期待されつつも欧州経済の停滞継続や中国経済の減速等による外需の落ち込み懸念により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境においても、造船事業では世界経済の減速と新造船の大量竣工に伴う海運市況の低迷から船腹需要は全般に亘って減少し、過剰な建造能力の存在も重なって新造船船価の下落を招く等厳しい状況となりました。陸上事業では一部復興需要もありましたが、民間設備投資が低水準で推移するとともに、レジャー事業においても遊園地入場者数が海外からの観光客減少の影響等により厳しい状況が続きました。

このような状況下、新造船については、世界最高水準の省エネ性能を誇る82千重量トン型パナマックス・バルクキャリアーの営業活動に注力するとともに120千重量トン型ハンディケープの省エネ船開発を完了、市場ニーズに対応した新船型の開発と実海域における運航性能の向上に関する研究を促進しました。陸上事業及びレジャー事業においても顧客ニーズに即した新製品の開発と営業に努めました。またグループ全社において「スリムアップ25」の表題のもと経費の抜本的削減運動をスタートさせました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高が前年同四半期比9,190百万円(16.9%)減少の45,328百万円、営業利益は1,181百万円(29.2%)増加の5,224百万円、経常利益は1,359百万円(33.9%)増加の5,374百万円、四半期純利益は1,752百万円(265.8%)増加の2,411百万円となりました。

また、当社グループは受注産業の事業の特性から、四半期業績が年度業績に必ずしも連動いたしません。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ①造船事業

上述のとおり船腹需給の不均衡に伴う新造船需要の急減と低船価となった厳しい新造船マーケット下において、燃費性能で差別化を果たした82千重量トン型パナマックス・バルクキャリアー1隻の内示書を受領しました。(本年1月に正式契約済)その結果当該分も含め当第3四半期連結会計期間末の受注残高は約2年半分の59,848百万円となりました。新造船の引渡しは6隻であり修繕船等を加えた当該事業の売上高は34,529百万円、営業利益は鋼材をはじめ資機材価格の引下げと生産性向上に加え会計期間末にかけての円高の修正も加わり5,889百万円となりました。

## ②陸上事業

建設工事用機械製造・レンタル、機械式駐車装置製造・保守、機械部品製造、化粧品製造用機械製造、自動車部品製造、空調・給排水・環境工事の陸上事業においては、厳しい国内設備投資環境において顧客ニーズに即した新製品の開発と受注活動を行い、当第3四半期連結会計期間末の受注残高は2,067百万円となりました。売上高は7,557百万円、営業利益は675百万円となりました。

## ③レジャー事業

遊園機械製造及び遊園地運営を行うレジャー事業においても、顧客ニーズに即した受注活動を行い、当第3四半期連結会計期間末の受注残高は375百万円となりました。売上高は3,017百万円、損益面は各種合理化に努めましたが、豪州観覧車の保証工事引当金1,256百万円を追加計上したこと等から963百万円の営業損失となりました。

④その他の事業

ソフトウェア開発等を行うその他の事業においては、厳しいシステム投資環境においても受注活動に努め、当第3四半期連結会計期間末の受注残高は62百万円となりました。売上高は223百万円、営業利益は11百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて6,009百万円減少し、43,752百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,228百万円増加しましたが、現金及び預金が6,615百万円、繰延税金資産が756百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて489百万円減少し、22,919百万円となりました。これは主に、有形固定資産が331百万円、投資有価証券が146百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて9,040百万円減少し、29,312百万円となりました。これは主に、前受金が4,071百万円、支払手形及び買掛金が2,748百万円、未払法人税等が2,092百万円、受注工事損失引当金が782百万円、保証工事引当金が569百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて303百万円増加し、19,638百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,238百万円増加し、17,720百万円となりました。これは主に、資本剰余金が378百万円減少しましたが、利益剰余金が2,626百万円増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績につきましては別途開示のとおり、第3四半期実績および茲許の円高の修正局面を踏まえ売上高59,000百万円、営業利益3,200百万円、経常利益2,900百万円、当期純利益1,100百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ22百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,431	18,815
受取手形及び売掛金	19,268	20,497
有価証券	—	90
商品及び製品	181	182
仕掛品	1,617	1,396
原材料及び貯蔵品	563	578
繰延税金資産	1,044	287
その他	1,862	1,926
貸倒引当金	△206	△22
流動資産合計	49,761	43,752
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	4,116	3,728
土地	5,082	5,060
その他(純額)	7,821	7,898
有形固定資産合計	17,020	16,688
無形固定資産		
ソフトウェア	645	572
その他	48	48
無形固定資産合計	693	620
投資その他の資産		
投資有価証券	3,813	3,667
長期貸付金	130	94
繰延税金資産	837	907
その他	1,135	1,194
貸倒引当金	△223	△254
投資その他の資産合計	5,694	5,609
固定資産合計	23,408	22,919
資産合計	73,170	66,671

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,245	11,496
短期借入金	3,951	5,390
未払法人税等	2,535	442
前受金	11,437	7,365
賞与引当金	395	226
保証工事引当金	2,604	2,035
受注工事損失引当金	1,439	657
固定資産撤去費用引当金	276	14
その他	1,468	1,683
流動負債合計	38,353	29,312
固定負債		
社債	60	45
長期借入金	12,991	13,109
退職給付引当金	4,253	4,276
役員退職慰労引当金	82	88
資産除去債務	531	578
繰延税金負債	1,266	1,313
負ののれん	79	63
その他	70	162
固定負債合計	19,334	19,638
負債合計	57,688	48,951
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538	2,538
資本剰余金	1,106	727
利益剰余金	10,356	12,983
自己株式	△5	△5
株主資本合計	13,995	16,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	640
繰延ヘッジ損益	—	△55
その他の包括利益累計額合計	606	585
少数株主持分	880	891
純資産合計	15,482	17,720
負債純資産合計	73,170	66,671

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	54,518	45,328
売上原価	46,991	37,013
売上総利益	7,527	8,315
販売費及び一般管理費	3,484	3,091
営業利益	4,042	5,224
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	59	50
貸倒引当金戻入額	127	154
為替差益	—	83
未払事業所税戻入益	—	58
その他	155	87
営業外収益合計	352	442
営業外費用		
支払利息	254	245
その他	125	46
営業外費用合計	380	292
経常利益	4,014	5,374
特別利益		
固定資産売却益	3	4
特別利益合計	3	4
特別損失		
固定資産撤去費用引当金繰入額	329	—
投資有価証券評価損	16	126
固定資産除却損	20	29
減損損失	1	16
その他	3	2
特別損失合計	371	174
税金等調整前四半期純利益	3,646	5,204
法人税、住民税及び事業税	2,279	2,026
法人税等調整額	698	753
法人税等合計	2,977	2,780
少数株主損益調整前四半期純利益	668	2,424
少数株主利益	9	12
四半期純利益	659	2,411

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	668	2,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△403	32
繰延ヘッジ損益	—	△55
その他の包括利益合計	△403	△22
四半期包括利益	265	2,401
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262	2,390
少数株主に係る四半期包括利益	2	10

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,847	7,544	2,838	54,230	288	54,518	—	54,518
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	63	0	73	174	248	△248	—
計	43,856	7,608	2,838	54,303	463	54,767	△248	54,518
セグメント利益又は損失(△)	6,401	261	△1,152	5,511	16	5,527	△1,484	4,042

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額1,484百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用1,485百万円及びセグメント間取引消去△0百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,529	7,557	3,017	45,104	223	45,328	—	45,328
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	23	2	35	263	298	△298	—
計	34,539	7,580	3,019	45,139	487	45,627	△298	45,328
セグメント利益又は損失(△)	5,889	675	△963	5,600	11	5,611	△387	5,224

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額387百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用384百万円、貸倒引当金の調整額△0百万円及びセグメント間取引消去4百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、組織再編により持株会社体制へ移行したことに伴い、報告セグメントを「造船事業」「陸上事業」「レジャー事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間については変更後の区分方法により作成しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

当社は平成24年6月26日開催の定時株主総会決議に基づき、繰越利益剰余金の欠損填補を目的として、その他資本剰余金を減少させ、繰越利益剰余金に振替えております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が215百万円減少し、利益剰余金と同額増加しております。

## 4. 補足情報

## 【販売及び受注の状況】

## セグメント別売上高

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
造船事業	43,847	80.5	34,529	76.1
陸上事業	7,544	13.8	7,557	16.7
レジャー事業	2,838	5.2	3,017	6.7
その他の事業	288	0.5	223	0.5
合計	54,518	100.0	45,328	100.0

## 受注状況ならびに受注残高

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
造船事業	17,693	101,653	4,964	59,848
陸上事業	6,400	3,276	4,037	2,067
レジャー事業	938	795	650	375
その他の事業	355	72	253	62
合計	25,387	105,797	9,905	62,353

(注) 当第3四半期連結会計期間末の造船事業における新造船の受注残高金額は工事進行基準で記載しており、受注残高隻数は、引渡しベースで20隻であります。